

# PKDの会関西座談会開催のご案内

平成21年8月  
PKDの会関西

残暑の厳しい日が続きますが、皆様方には体調の方はいかがでしょうか。暑さ負けなどされないよう十分に注意をなさってください。

今年も先生方のご協力を得ることができ、下記の通り関西座談会において講演会を実施させていく運びとなりました。今回は、再生医療の最先端を行くiPS細胞で多発性嚢胞腎の治療薬の開発や移植に提供できる細胞の作成を目指しておられる京都大学の先生にお願いをいたしました。

お忙しい時期、また体調の関係などもありますでしょうが、講演以外の時間は患者同士の情報交換の場とさせていただきますので、ぜひご来場ください。

日時：平成21年11月15日(日) 午後1時～午後4時

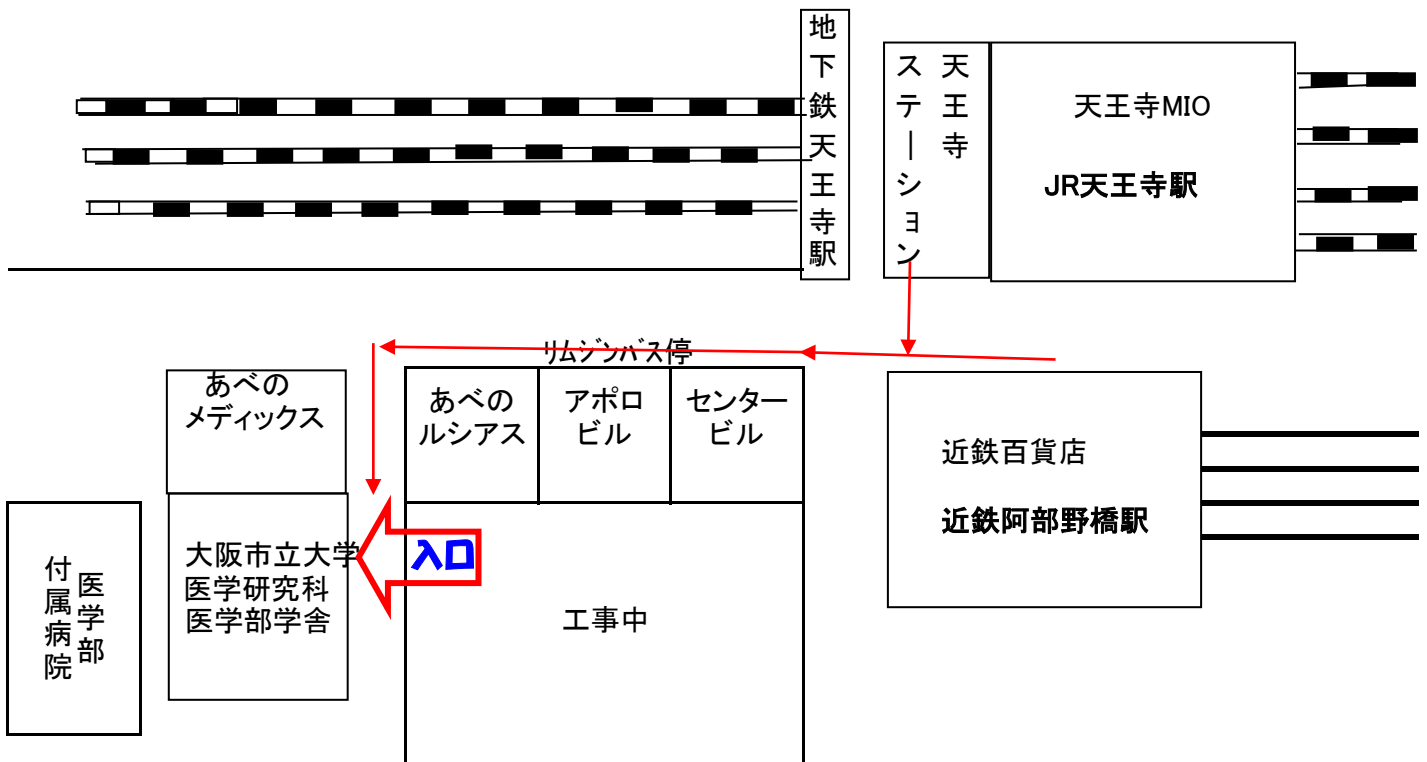
場所：大阪市阿倍野区旭町1-4-3  
大阪市立大学医学部学舎(研修)棟 4階 中講義室

講演者：京都大学 物質-細胞統合システム拠点  
iPS細胞研究センター 腎臓再生研究グループ(長船研究室)  
長船 健二先生  
演題  
「ヒトiPS細胞を用いたこれからの腎臓再生研究」

参加費：PKDの会会員は無料  
会員以外は500円

## ◇交通アクセス◇

- ・ JR環状線・阪和線・大和路線「天王寺」駅
- ・ 地下鉄御堂筋線・谷町線「天王寺」駅⑫⑬出口
- ・ 近鉄南大阪線「あべの橋」駅
- ・ リムジンバス停「あべの」



## 講師の長船先生紹介



長船 健二 M.D., Ph.D

- 1996年 京都大学医学部卒業。
- 1996-2000年 京都大学医学部附属病院老年科入局（北 徹 教授）  
市立舞鶴市民病院、京都大学医学部附属病院、兵庫県立尼崎病院にて一般内科および腎臓内科学／透析医学の臨床経験を積む。
- 2000-2005年 東京大学大学院理学系研究科 博士課程その後研究員（浅島 誠 教授）  
アフリカツメガエルとマウスを用いた腎臓発生と再生の研究を行う。  
ハーバード大学幹細胞研究所／幹細胞再生生物学教室 客員研究員  
（Douglas A. Melton 教授）
- 2005-2008年 主に膵臓再生を目指したヒトES及びiPS細胞の分化誘導を研究する。  
また、ヒトES細胞を分化誘導する低分子化合物の探索を行う。
- 2008年7月 京都大学物質－細胞統合システム拠点iPS細胞研究センター 講師

### 長船先生から講演に関するコメント

講演の内容は、私が研究者生活を始めてから9年以上の間、一貫して腎臓再生医療の開発を目指して行ってきた研究の成果と多発性嚢胞腎に対する治療法開発を含む今後のiPS細胞を用いた研究の展望についてです。

具体的には、私が大学院時代に研究した（1）腎臓の発生機構（2）腎臓の幹細胞を見つけたこと、米国留学中に行った（3）ヒトES細胞を用いた臓器作製研究（4）ヒトiPS細胞の作製研究、留学から帰国後、今現在、そして今後、私が京大iPS細胞研究センターで行っていく（5）腎臓再生医療の開発研究（6）多発性嚢胞腎の治療法開発に向けた研究、についてです。

幹細胞、ES細胞やiPS細胞などの説明をはじめとして、研究者ではない一般の方にでもできるだけ分かりやすく発表させて頂きたいと思っております。